

# 巡回制度で保安向上

## 事業者同士が相互訪問し検証

日本ガス協会(JGA)はガス事業者の保安向上のために保安推進ランナー制度を設けている。一方、近畿部会では、事業者を相互訪問する巡回活動により組織体制や所有設備、顧客所有機器などの保安レベルを検証、向上させる独自の取り組みを行っている。

近畿部会が設定した自主保安向上プログラムに沿って、対象設備や顧客所有機器などの改善状況について事前に自己診断し、その結果を基に技術協力や保安推進委員と他社の状況の比較も含め、保安の向上や改善策などを意見交換し、診断項目は10年度まではJGAが策定した「保安レベル・実施の自己診断」を使用していた。11年度に保安レベルの管理手法としてJGAが新規に策定した「ガス保安リスクリーズメント(RLM)」を導入した。RLMは数値管理をしないため、事業者の設備改善等の努力状況や他社との比較が分かりにくい。そこで近畿部会の保安推進グループでは従来の保安レベル・実施の自己診断とRLMを併用し、取り分け、数値管理が可能な保安巡回用自主保安向上プログラムを独自作成した。

数値診断だけでなく、項目別にABCとランクを付け、それを分野別に集計して評価する。例えば供給分野では、ねずみ講管やねじ支管、保安上重要な建物の経年管内管などは、経済産業省の対策完了要請期限である15年度を基準に「対象をおよぼ100%完了」を待た「80%以上完了」



大辻さん

総括の3人1組で年間6事業者を訪問し、3年間で巡る。結果は保安推進ランナー会議で報告。全事業者共通の課題として意見交換し、検証結果を過去2回のデータとともに報告する。事業者相互の比較意識が働き、部全体の保安向上へのモチベーションアップが期待できる」と近畿部会技術総括の大辻さんは効果を語る。

「ガス漏れ警報器の普及率が伸び悩んでいた事業者を訪問した際、ランナー制度を活用し成果を上げていた事例を紹介し、単に改善策をチェックするだけでなく、訪問先の事業者と結ぶことで普及方法改善策を考へることも重要。自己の知見も向上すること」と語る。

「ガス保安推進委員の河内長野ガス供給・保安チーム課長代理の堀田武司さんも「同じ近畿部会に属する事業者でも事業規模や営・民営など経営形態、供給区域の状況など異なる点が多い。他社の施策を十分理解することで、自社の施策の満足できる点、足りない点、生かせる点を明確に把握できる」と話す。

一方、保安巡回を受け入れる側の事業者からは、事前の自主保安向上プログラムに沿って項目別の診断結果を通じて、自社の保安状態の全体像を把握できる上



今川さん

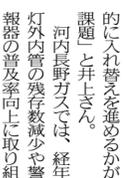


井上さん

「ガス保安推進委員の五方ガス業務部の井上祐一さんは「情報交換により相互の保安レベル向上へ」

「他社と比べ評価が低かった場合は刺激を受け、課題を認識できるといった声が多い。五方ガスの場合、ねずみ講管の残存数削減に力を注いでおり、下水道工事に伴って入れ替えているが「五方市の下水道計画と当社の入れ替計画が、年度や時期も多々、いかに効率的に入れ替を進めるかが課題」と井上さん。

河内長野ガスでは、経年灯外管内の残存数減少や警報器の普及率向上に取り組み、ガスの漏れ警報器の普及率向上に今年度から具体的な数値で目標設定



堀田さん

「取り組みを加速する」と堀田さん。

保安巡回活動は各事業者の保安レベル向上のほかにも、事業者間の情報交換が活発になるといふメリットも大きい。巡回というメリットを伴った活動があり、委員



堀田さん

### 保安活動報告 保安向上への取り組み 諏訪ガス

諏訪ガス(諏訪市長、顧客数2万3000件)は経年管対策を加速している。4月15日は、日本ガス協会の0-11年度経年管内管改善表彰制度の増加件数部門で表彰を受けた。同制度が創設された09年度以来、3年連続の受賞。経年管内管の改善数は毎年増えている。経年本支管の対策完了は20年度を、保安上重要な建物の経年管内管は15年度を目標に取り組んでいる。(片山 浩樹)



小口部長

「以前は低コストでガスだったため、入れ替えにはパイプの径が倍以上必要。それが熱変まで待ちました。09年にOBを再雇用し専任者を充て、本格的な改善折衝を始めた。小口則夫・業務部長は取り組みの経緯をう語る。40件あった建物区分517と学校を最重要物件と位置付け、初年度一巡を完了した。しかしほとんどが公営住宅など公共物件で、す

は3件改善してくれました。継続的に話をしていくことが大切だと思っています。(堀江さん)

補助金の使い勝手には要望があるという。

「基本的には1月まで、遅くとも2月中の竣工を求められるのですが、上諏訪温泉は夏が繁忙期でホテルなどの工事はできません。1・2月は気温が低いので、アスファルトが冷たいため、本復旧ができない。なので1年を通して使えるようにしてもらえると、ありがたいです」(小口部長)

11年末現在、保安上重要な建物の経年管内管改善数は511本。毎年ペースを上げてきているとはいえ、15年度までの全数改善はかなりの厳しい状況といわざるを得ない。

堀江さんは来年1月に退社する予定だ。「今年ではできるだけ数を回すと考えている」といふ。

「厳しい状況は自覚していますが、一番よいのは専任者を増やすこと。ノウハウを持ってOBの留用を会社に提案したい。あらゆる努力をして15年度の目標をクリアしたい」(小口部長)

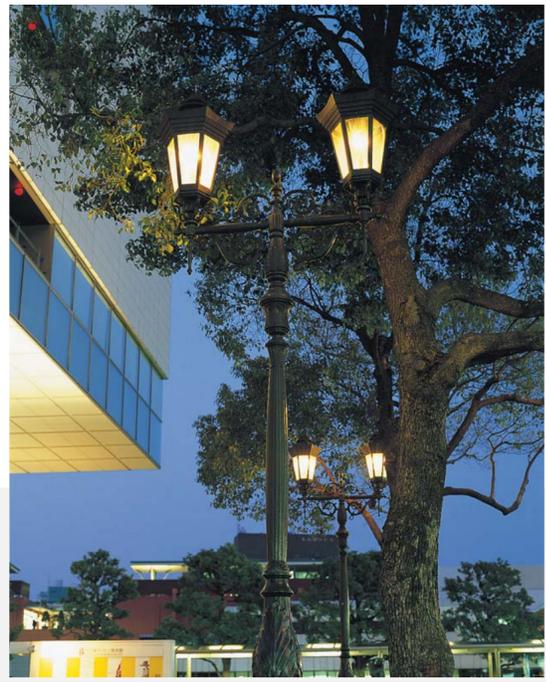
## 経年管対策を加速 改善表彰3年連続受賞

経年管内管改善表彰は、経営トップの経年管内管対策の重要性に対する認識と、現場社員へのモチベーションの向上を目的に、ガス協会が毎年行っている。政府の経年管内管対策補助金の活用実績などを評価するもので、今年で3年となる。諏訪ガスは初年度に初申請部門で受賞(一件)して以来、昨年は増加件数部門(9件)で、今年も初申請部門(18件)で受賞した。3年連続(片山 浩樹)



堀江さん

「書類の作成などが結構

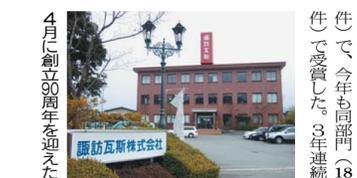


金山総合駅(愛知県名古屋市)

ガス灯のある街

JR、名鉄、地下鉄が乗り入れる金山総合駅。その南口広場にガス灯が立ち並びます。これは1999年、広場に隣接して名古屋ポストン美術館が開館した際、美術館にふさわしい景観にしようと設置されたもの。広場のほか駅前道路でもガス灯が温かな光を放っています。

撮影:川村典幸



諏訪ガス株式会社

4月に創立90周年を迎えた

安全・安心のために...アイチからのご提案

流量・圧力監視による設備投資の効率化

地震時はSIセンサー連動で正確に遮断

PHS(PIAFS)を利用した整圧器停止機能付

### 開度監視ユニット

**TX410**

一般社団法人 日本ガス協会、習志野市企業局、小田原ガス株式会社、河内長野ガス株式会社、東邦ガス株式会社、秦野ガス株式会社、武陽ガス株式会社 共同開発品

**S&S** センサシステム アンド サービス

**愛知時計電機株式会社**

本社: 〒456-8691 名古屋市熱田区千年一丁目2番70号

札幌支店: TEL(011) 842-9500 東京支店: TEL(03) 3209-7551 大阪支店: TEL(06) 6305-9053 仙台支店: TEL(022) 258-1181 名古屋支店: TEL(052) 889-1563 福岡支店: TEL(092) 534-2050

対面キッチンに最適なガス栓を考えました。

### フレキガスコンセント(埋込分岐) G859A3

特長 (従来のフレキ分岐チース工法との比較)

1. 工事材料費の削減ができます (フレキ分岐チース、分岐部のフレキ管が不要)
2. 作業時間が短縮されます (フレキ接続箇所が4箇所→2箇所)
3. 保安性が向上します (フレキ接続箇所が4箇所→2箇所)

製品写真

安全・快適・信頼 **光陽産業**

**KSK 光陽産業株式会社**

受注センター TEL.025(523)2291 FAX.025(523)2295 本社 TEL.03(3787)3411 〒142-0042 東京都品川区豊島4丁目20番14号

営業部・開発室 TEL.03(5702)1221 FAX.03(5702)1370 新潟営業所 TEL.025(522)2181(代) 西日本営業所 TEL.092(472)9411(代) 大坂営業所 TEL.06(6952)0631(代) 札幌出張所 TEL.011(856)7131(代)

http://www.koyosangyo.co.jp/

特集

技術普及セミナー 全国5カ所で開催

日本ガス協会は2012年技術普及セミナーを、6月29日の仙台を皮切りに全国5カ所で開催する。同セミナーは1999年から毎年開催され、今年で14回目となる。ガス事業者が開発し、実用化段階になっている最新の技術の中から、全国への普及が期待されるテーマを選定し、紹介する。今年は48のテーマが発表される予定だ。

今すぐ使える技術を紹介 埋設やシステム関連も充実

技術普及セミナーは、日本ガス協会が地方ガス事業者を支援する目的で共同開発した開発品と、大手ガス事業者が開発した開発品を中心に、全国への普及が期待されるテーマを選定し、普及の拡大を図る目的で開催している。毎年、ガス事業者や工事会社、メーカーなどから100人以上が参加する盛況となっている。従来は札幌、仙台、新潟、

東京、名古屋、大阪、福岡の7カ所を会場としていた。今年度はより新たな広島が加わった。今後は東京と福岡で毎年開催、札幌、新潟、大阪と仙台、名古屋、広島

が、今年度より新たに広島が加わった。今後は東京と福岡で毎年開催、札幌、新潟、大阪と仙台、名古屋、広島

「家庭用業務用ガス取扱など営業支援に資する機器」技術である。セミナーを担当する日本

「現場作業報告支援システム(東邦ガス)紙ベースで行っていた現場作業報告を、タブレット端末を活用することで効率化を図った。タブレット端末に報告内容を入力し、写真を撮影すると自動的に報告書が作成される。紙資源を削減し、帰社後の再入力に不要にしたと同時に、情報の共有化が図れる。

「ガバナみはる用センサーソフトの高度化(東邦ガス) デジタル式自記圧力計を通信化した「ガバナみはる」のセンサーシステムについて、一段高い保安レベルを実現するため、別途開発済みのガバナみ遠隔操作機能や、供給圧力の異常を早期に発見する機能の追加に取り組んでいる。

「架空(露出)配管用クランプ耐火リングの開発(京葉ガス) 既存品である、亜鉛めっき仕様のサービスクランプのリングに耐火性能を持たせることで、埋設部のみでしか使用できなかったサービスクランプを、露出部でも使用できるようにした。

「地方ガス事業者支援による開発品」供給設備に関わる各社の開発品



後藤マネジャー

「現場作業報告支援システム(東邦ガス)紙ベースで行っていた現場作業報告を、タブレット端末を活用することで効率化を図った。タブレット端末に報告内容を入力し、写真を撮影すると自動的に報告書が作成される。紙資源を削減し、帰社後の再入力に不要にしたと同時に、情報の共有化が図れる。

「ガバナみはる用センサーソフトの高度化(東邦ガス) デジタル式自記圧力計を通信化した「ガバナみはる」のセンサーシステムについて、一段高い保安レベルを実現するため、別途開発済みのガバナみ遠隔操作機能や、供給圧力の異常を早期に発見する機能の追加に取り組んでいる。

「架空(露出)配管用クランプ耐火リングの開発(京葉ガス) 既存品である、亜鉛めっき仕様のサービスクランプのリングに耐火性能を持たせることで、埋設部のみでしか使用できなかったサービスクランプを、露出部でも使用できるようにした。

「地方ガス事業者支援による開発品」供給設備に関わる各社の開発品

技術普及セミナー会場案内

- 仙台会場 6月29日(金) 13時30分~16時(受付開始13時)
名古屋会場 7月20日(金) 13時30分~16時(受付開始13時)
広島会場 7月6日(金) 13時30分~16時(受付開始13時)
東京会場 7月13日(金) 13時30分~16時30分(受付開始13時)
福岡会場 7月27日(金) 13時30分~16時(受付開始13時)

ヤンマーエネルギーシステム

複合提案で発電、節電を実現

ヤンマーエネルギーシステム(玉田裕社長)は、ガスエンジンを中心としたコージェネレーションシステム、非常用発電装置などを、開発・製造から販売、施工、メンテナンスまで一貫体制で行っている。同社は親会社であるヤンマー(山岡健人社長)がグループ事業を分野別に分社化したのに伴い、2003年に誕生した。

ヤンマーエネルギーシステムは、東日本大震災による福島第一原子力発電所事故の影響に起因する電力不足と、それに伴う節電を求め、社会的要請に対応し、コージェネレーションシステム、GHP、非常用発電機の提案・販売に注力すると同時に、太陽光発電

「家庭用業務用ガス取扱など営業支援に資する機器」技術である。セミナーを担当する日本

「現場作業報告支援システム(東邦ガス)紙ベースで行っていた現場作業報告を、タブレット端末を活用することで効率化を図った。タブレット端末に報告内容を入力し、写真を撮影すると自動的に報告書が作成される。紙資源を削減し、帰社後の再入力に不要にしたと同時に、情報の共有化が図れる。

「ガバナみはる用センサーソフトの高度化(東邦ガス) デジタル式自記圧力計を通信化した「ガバナみはる」のセンサーシステムについて、一段高い保安レベルを実現するため、別途開発済みのガバナみ遠隔操作機能や、供給圧力の異常を早期に発見する機能の追加に取り組んでいる。

「架空(露出)配管用クランプ耐火リングの開発(京葉ガス) 既存品である、亜鉛めっき仕様のサービスクランプのリングに耐火性能を持たせることで、埋設部のみでしか使用できなかったサービスクランプを、露出部でも使用できるようにした。

「地方ガス事業者支援による開発品」供給設備に関わる各社の開発品

「現場作業報告支援システム(東邦ガス)紙ベースで行っていた現場作業報告を、タブレット端末を活用することで効率化を図った。タブレット端末に報告内容を入力し、写真を撮影すると自動的に報告書が作成される。紙資源を削減し、帰社後の再入力に不要にしたと同時に、情報の共有化が図れる。

「ガバナみはる用センサーソフトの高度化(東邦ガス) デジタル式自記圧力計を通信化した「ガバナみはる」のセンサーシステムについて、一段高い保安レベルを実現するため、別途開発済みのガバナみ遠隔操作機能や、供給圧力の異常を早期に発見する機能の追加に取り組んでいる。

「架空(露出)配管用クランプ耐火リングの開発(京葉ガス) 既存品である、亜鉛めっき仕様のサービスクランプのリングに耐火性能を持たせることで、埋設部のみでしか使用できなかったサービスクランプを、露出部でも使用できるようにした。

「地方ガス事業者支援による開発品」供給設備に関わる各社の開発品

「現場作業報告支援システム(東邦ガス)紙ベースで行っていた現場作業報告を、タブレット端末を活用することで効率化を図った。タブレット端末に報告内容を入力し、写真を撮影すると自動的に報告書が作成される。紙資源を削減し、帰社後の再入力に不要にしたと同時に、情報の共有化が図れる。

「現場作業報告支援システム(東邦ガス)紙ベースで行っていた現場作業報告を、タブレット端末を活用することで効率化を図った。タブレット端末に報告内容を入力し、写真を撮影すると自動的に報告書が作成される。紙資源を削減し、帰社後の再入力に不要にしたと同時に、情報の共有化が図れる。

「ガバナみはる用センサーソフトの高度化(東邦ガス) デジタル式自記圧力計を通信化した「ガバナみはる」のセンサーシステムについて、一段高い保安レベルを実現するため、別途開発済みのガバナみ遠隔操作機能や、供給圧力の異常を早期に発見する機能の追加に取り組んでいる。

「架空(露出)配管用クランプ耐火リングの開発(京葉ガス) 既存品である、亜鉛めっき仕様のサービスクランプのリングに耐火性能を持たせることで、埋設部のみでしか使用できなかったサービスクランプを、露出部でも使用できるようにした。

「地方ガス事業者支援による開発品」供給設備に関わる各社の開発品

「現場作業報告支援システム(東邦ガス)紙ベースで行っていた現場作業報告を、タブレット端末を活用することで効率化を図った。タブレット端末に報告内容を入力し、写真を撮影すると自動的に報告書が作成される。紙資源を削減し、帰社後の再入力に不要にしたと同時に、情報の共有化が図れる。

「ガバナみはる用センサーソフトの高度化(東邦ガス) デジタル式自記圧力計を通信化した「ガバナみはる」のセンサーシステムについて、一段高い保安レベルを実現するため、別途開発済みのガバナみ遠隔操作機能や、供給圧力の異常を早期に発見する機能の追加に取り組んでいる。

「架空(露出)配管用クランプ耐火リングの開発(京葉ガス) 既存品である、亜鉛めっき仕様のサービスクランプのリングに耐火性能を持たせることで、埋設部のみでしか使用できなかったサービスクランプを、露出部でも使用できるようにした。

「地方ガス事業者支援による開発品」供給設備に関わる各社の開発品

「現場作業報告支援システム(東邦ガス)紙ベースで行っていた現場作業報告を、タブレット端末を活用することで効率化を図った。タブレット端末に報告内容を入力し、写真を撮影すると自動的に報告書が作成される。紙資源を削減し、帰社後の再入力に不要にしたと同時に、情報の共有化が図れる。

「ガバナみはる用センサーソフトの高度化(東邦ガス) デジタル式自記圧力計を通信化した「ガバナみはる」のセンサーシステムについて、一段高い保安レベルを実現するため、別途開発済みのガバナみ遠隔操作機能や、供給圧力の異常を早期に発見する機能の追加に取り組んでいる。

「架空(露出)配管用クランプ耐火リングの開発(京葉ガス) 既存品である、亜鉛めっき仕様のサービスクランプのリングに耐火性能を持たせることで、埋設部のみでしか使用できなかったサービスクランプを、露出部でも使用できるようにした。

「地方ガス事業者支援による開発品」供給設備に関わる各社の開発品

「現場作業報告支援システム(東邦ガス)紙ベースで行っていた現場作業報告を、タブレット端末を活用することで効率化を図った。タブレット端末に報告内容を入力し、写真を撮影すると自動的に報告書が作成される。紙資源を削減し、帰社後の再入力に不要にしたと同時に、情報の共有化が図れる。



「サーチャー遮断工具(筑紫ガス=地方技術開発活性化支援テーマ) 経年供内管の対策や漏洩調査では既設のサービスターにゴムストップバーを挿入してガスを遮断するが、抜けの不安やエア抜きが必要があった。本品はねじ込み式で抜けをなくし、エア抜きを不要として作業時間の短縮を図った。



「小型高効率レキュペレーター一体型ガスバーナ(広島ガス、東京ガス、京葉ガス、静岡ガス、四国ガス、岡山ガス、福山ガス、日本ガス協会) 小型高効率レキュペレーター(排熱回収熱交換器)を省エネ型バーナーと一体化し、リジェネバーナーの省エネ率に近づけた。写真はレキュペレーターの外観。



「電力活線たんざくん(東京ガス) 50ヘルツと60ヘルツの周波数を発信機周波数に見立て、高精度で探査する。埋設あるいは屋内隠蔽部の電力ケーブルを非開削で容易に特定でき、配管工事などでの保安の向上に役立つ。



「PE管同径活管分岐工法(東京ガス) 同工法はバイパス管を設置しないで既設管と同径の活管分岐を可能とするのだが、今回の開発で、新たに分岐方向を360度任意に設定できるようにし、施工性を向上させた。



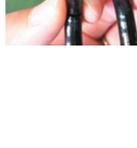
「現場作業報告支援システム(東邦ガス)紙ベースで行っていた現場作業報告を、タブレット端末を活用することで効率化を図った。タブレット端末に報告内容を入力し、写真を撮影すると自動的に報告書が作成される。紙資源を削減し、帰社後の再入力に不要にしたと同時に、情報の共有化が図れる。



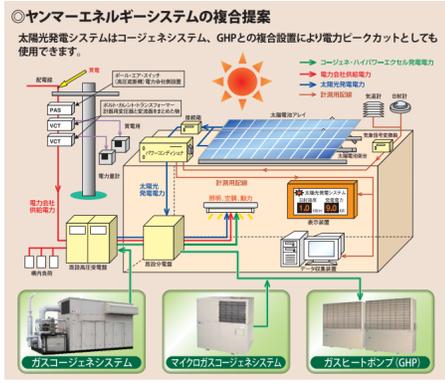
「ガバナみはる用センサーソフトの高度化(東邦ガス) デジタル式自記圧力計を通信化した「ガバナみはる」のセンサーシステムについて、一段高い保安レベルを実現するため、別途開発済みのガバナみ遠隔操作機能や、供給圧力の異常を早期に発見する機能の追加に取り組んでいる。



「架空(露出)配管用クランプ耐火リングの開発(京葉ガス) 既存品である、亜鉛めっき仕様のサービスクランプのリングに耐火性能を持たせることで、埋設部のみでしか使用できなかったサービスクランプを、露出部でも使用できるようにした。



「地方ガス事業者支援による開発品」供給設備に関わる各社の開発品



ヤンマーエネルギーシステムの複合提案

Advertisement for SAMSON Saving Energy Boiler SEB SERIES Evolution, highlighting eco-technology and energy efficiency.

Advertisement for KURIMOTO, featuring water and air conservation and life, with a focus on gas pipes and valves.